SONY

4-179-837-**03** (2)

パーソナルオーディオドッキングシステム

取扱説明書・保証書

RDP-NW1

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

品　名　パーソナルオーディオドッキングシステム
型　名　RDP-NW1
保証書　T02-1

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

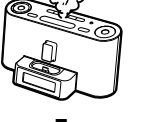
在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号
火災　感電

行為を禁止する記号
禁止　分解禁止　ぬれ手禁止　接触禁止

行為を指示する記号
プラグをコンセントから抜く　指示

⚠警告　火災　感電
下記の注意事項を守らないと
火災・感電・発熱・発火により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない 本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないで下さい。また、本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないで下さい。
本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないで下さい。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

禁止

海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

指示

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

本機やアンテナ線、電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または機器を本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないで下さい。壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となります。

禁止

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いて下さい。通常、本機の電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

指示

コード類は正しく配置する

コード類は足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。

⚠注意
下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

禁止

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

ボタン型電池
リチウム電池 CR2032、CR2025（リモコン用）

⚠危険

電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

電池を誤って交換すると爆発する危険があります。必ず同じ種類のものと交換してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。ショートさせない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

主な特長

- "ウォークマン"接続対応 W M-PORT（ダブリューエム ポート）搭載
- FM/AM シンセサイザーチューナー
- 15局プリセット機能
- MEGA Xpand（メガ エクスパンド）回路採用で迫力のある音
- 別売りの外部機器からの音声入力機能
- ラジオ、"ウォークマン"によるアラーム／スリープタイマー設定機能
- 液晶表示の明るさ調整機能（4段階：明るい/中間/暗い/オフ）
- ワイヤレスリモコン付属

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 次のような場所に置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - 窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  - ほこりの多いところ。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 本機の内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気が変化し、使えなくなることがあります。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に次のことをお調べください。

音が出ない
- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込む。
- 音量を調節する。

予約した時刻になってもラジオ、"ウォークマン"、ブザーアラームが働かない
- アラームがONになっていない。
  → アラーム設定がONになっているか確認する。
- アラーム設定時刻を確認する。

停電で時計が初期状態に戻ってしまう
記憶させた放送局が消えている
- バックアップ用のリチウム電池が消耗している。
  → リチウム電池を交換する。

主な仕様

表示窓部

時刻表示	12時間表示

"ウォークマン"接続対応WM-PORT部

出力	DC 5 V
最大	500 mA

ラジオ部

FM	76.0 MHz ～ 90.0 MHz
AM	531 kHz ～ 1,710 kHz

スピーカー部

	直径約5 cm、10 Ω
実効出力	3 W＋3 W（全高調波歪10 %）、ステレオ（JEITA *）

音声入力	AUDIO IN（オーディオ イン）端子（直径3.5 mm ステレオミニジャック）

電源

本体用：	AC 100 V、50/60 Hz
バックアップ用：	DC 3 V、リチウム電池CR2032 1個

消費電力	16 W
最大外形寸法	約300 mm × 130 mm × 139 mm（幅×高さ×奥行き、最大突起部含まず）（JEITA）
質量	約1.8 kg（電源ユニット含む）

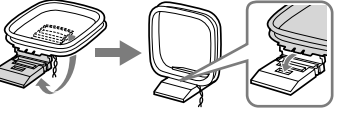
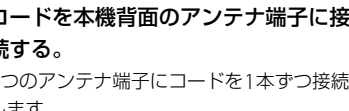
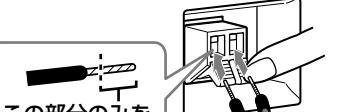
* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品
"ウォークマン"用アタッチメント（2）（本体色ブラック）/（3）（本体色ホワイト）
AMループアンテナ（1）
オーディオケーブル（1）
リモコン（リチウム電池入り）（1）
取扱説明書・保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

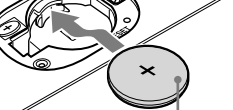
電源について

電源プラグをつなぐ

電源プラグをコンセントにしっかりと差し込みます。

ご注意
- コードを無理に曲げたり、コードの上に重い物をのせたりしないでください。
- コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

時計設定について

本機には、バックアップ用のリチウム電池が入っており、時計はあらかじめ設定されています。
手動で時計を合わせる場合は、「カレンダーと時計を合わせる」をご覧ください。

バックアップ用のリチウム電池について

本機には、あらかじめバックアップ用のリチウム電池（CR2032）が入っています。このリチウム電池の残量が充分であれば、万一停電があっても時計は止まりません。

リチウム電池の交換時期について

リチウム電池が消耗してくると、表示窓に「電池マーク」が点灯します。その場合は、新しいリチウム電池（ソニー製CR2032）と交換してください。

ご注意
- お買い上げ後、初めてコードをコンセントにつなげたとき、時計表示が点滅している場合があります。そのときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
- 本機にあらかじめ入っているバックアップ用のリチウム電池は、お試し用です。お買い上げ後は新しい電池をお買い求めのうえ、交換してください。

バックアップ用のリチウム電池を交換するには

1. **電源接続コードをコンセントにつないだまま、本体底面にある電池入れのネジをドライバーではずし、リチウム電池ぶたを持ち上げる。**

2. **古い電池を取り出して、新しいリチウム電池（ソニー製CR2032）の＋側を上にして入れる。**

新しいリチウム電池の＋側を上にして入れる

3. **電池ぶたを閉じて、ネジを閉める。**

4. **RADIO ON・BAND（ラジオ オン バンド）、►II、AUDIO IN（オーディオ イン）ボタンのどれかを押す 。**
   表示窓の「電池マーク」が消えます。

ご注意
時刻設定やアラーム設定を保持するため、電池を交換するときは電源接続コードをコンセントに差したまま行ってください。

電池に関する警告
長い間ご使用にならないときは電池を取り出してください。過度の放電や液もれを防ぎます。

リチウム電池に関するご注意
- 電池残量のない電池はすぐに廃棄してください。電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 接触不良を防ぐため、電池を乾いた布でよく拭いてください。
- 電池を入れるときは＋と－を確かめてください。
- ピンセットなどの金属類と電池を一緒に携帯・保管しないでください。電池の＋と－が金属類とつながるとショートし、発熱することがあります。
- 直射日光や火の近くなど、温度の高いところに電池を置かないでください。

⚠警告
電池の＋と－の向きをまちがえて入れると破裂する恐れがあります。
内蔵の電池と同じ種類の電池をお使いください。

アンテナを接続する

AMループアンテナを接続する

1. **アンテナに巻かれているアンテナコードをほどき、台を起こす。**
2. **アンテナを起こしてカチッと音がするまで溝に確実にはめる。**

3. **コードを本機背面のアンテナ端子に接続する。**
   2つのアンテナ端子にコードを1本ずつ接続します。

4. **コードを軽く引っぱり、アンテナ端子にしっかり接続されていることを確認する。**

アンテナの位置を調整する

AMループアンテナは受信状態の良い場所や方向を探して設置してください。

ご注意
- アンテナを分解したり、無理に曲げたりしないでください。

リモコンを準備する

初めて付属のリモコンをお使いになるときは、絶縁フィルムを取り除いてください。

リチウム電池を交換するときは

リモコンに入っているリチウム電池は、通常の使用では約6ヶ月持続します。電池が消耗すると、リモコンは正常に作動しなくなったり、リモコンの動作距離が短くなったりします。そのようなときは、新しいソニー製リチウム電池CR2025と交換してください。

CR2025

カレンダーと時計を合わせる

本機はあらかじめカレンダーと時計が設定されていますが、バックアップ用のリチウム電池が消耗すると、停電があったとき、時計が初期状態に戻ってしまいます。このようなときは、新しいリチウム電池に交換したうえ（「バックアップ用のリチウム電池を交換するには」参照）、次の手順にしたがってカレンダーと時計を合わせてください。

1. **電源接続コードをコンセントにしっかり差し込む。**
2. **CLOCK（クロック）ボタンを2秒以上押したままにする。**
   年月日表示の「年」が点滅します。
3. **TIME SET（タイム セット）＋または－ボタンを繰り返し押して「年」を設定する。**
   ＋を押すと数字が進み、－を押すと数字が戻ります。ボタンを押し続けると早く変わります。
4. **CLOCKボタンを押す。**
   年月日表示の「月」が点滅します。
5. **手順3と4を繰り返して「月」、「日」、「時」、「分」を設定し、CLOCKボタンを押す。**
   時刻が確定し、秒のカウントが0から始まります。

ご注意
- カレンダーまたは時刻設定中に約1分間何も操作しないと、設定は解除されます。

年月日を表示するには

DATE（デート）ボタンを押すと、「日付」が表示され、2秒間以内にもう一度DATEボタンを押すと「年」が表示されます。
「日付」と「年」は約4秒間表示された後、時刻表示に戻ります。

ディスプレイの明るさを調整する

SNOOZE（スヌーズ）/BRIGHTNESS（ブライトネス）（リモコンの場合、SNOOZE・BRIGHTNESS）ボタンを押すたびにディスプレイの明るさが変わります。

明るい → 中間 → 暗い → オフ → 明るい

ラジオを聞く

マニュアル選局をする

1. **RADIO ON・BANDボタンを押して、ラジオの電源を入れる。**
2. **RADIO ON・BANDボタンを押して、バンドを選ぶ。**
   ボタンを押すごとに、バンド表示が変わります。
   FMを聞く場合は、FM1またはFM2に合わせます。
   →FM1 → FM2 → AM
   FM1とFM2に含まれる放送局は同じです。FM1とFM2はPRESET TUNING（1 ～ 5）ボタンに記憶しておくときに使います。「いつも聞く放送局を記憶させて聞く－プリセット選局」をご覧ください。
3. **TUNING（チューニング）＋または－ボタン（リモコンの場合、TUNE（チューン）＋または－ボタン）を押して聞きたい放送局に合わせる。**
4. **VOLUME（ボリューム）＋または－ボタンで音量を調節する。**

手順3で、聞きたい局を選んでボタンをはなすと、約10秒後に時刻表示になります。

オート選局をする

1. **RADIO ON・BANDボタンを押して、ラジオの電源を入れる。**
2. **TUNING+または–ボタン（リモコンの場合、TUNE+または–ボタン）を押したままにする。**
   TUNING+：周波数が大きいほうへ選局されます。
   TUNING–：周波数が小さいほうへ選局されます。
   現在受信している放送局の周波数から選局が自動的に開始され、放送局が受信されると、選局は止まります。
3. **VOLUME+または–ボタンで音量を調節する。**

受信状態を良くするには

FM放送の場合
ワイヤーアンテナをまっすぐに伸ばし、最も良く受信できる向きにしてお聞きください。

AM放送の場合
付属のAMループアンテナを本機に接続してください。AMループアンテナを最も良く受信できる方向に向けて置いてください。

ラジオを聞くときのご注意
- デジタルミュージックプレーヤーや携帯電話をAMループアンテナやFMアンテナに近づけないでください。ラジオの受信を妨げることがあります。
- "ウォークマン"を充電中にラジオを聞いているとき、充電によってラジオに雑音が入ることがあります。

いつも聞く放送局を記憶させて聞く — プリセット選局

いつも聞く放送局をFM1、FM2に各5局とAMに5局、合わせて15局までPRESET（プリセット） TUNING（チューニング）（1 ～ 5）ボタンに設定しておくことができます。聞きたい局の周波数を一度記憶させておくだけで、後はこれらのPRESET TUNING（1 ～ 5）ボタンを押すだけで正確な受信ができます。

放送局を記憶させる

1. **「マニュアル選局をする」の手順1から3を行って、記憶させたい放送局を受信する。**
2. **記憶させたい番号のPRESET TUNING（1 ～ 5）ボタンを押したままにする。**
   受信している周波数が選んだプリセット番号に記憶されます。

   例：PRESET TUNING「1」にFM1の87.5 MHzを記憶させたときの表示

表示窓に約10秒間周波数が表示され、時刻表示に戻ります。
つづけて放送局を記憶させるときは、手順1、2を繰り返します。

ご注意
- 手順2で放送局を記憶させたプリセット番号に他の放送局を記憶させると、前に記憶されていた放送局は消去されます。

記憶させた局を聞くには

1. **RADIO ON・BANDボタンを押して、ラジオの電源を入れる。**
2. **RADIO ON・BANDボタンを押して、バンドを選ぶ。**
3. **聞きたい局が記憶されているPRESET TUNING（1 ～ 5）ボタンを押す。**
   リモコンの場合、PRESET+または–ボタンを押して、お好みのプリセット番号を表示させます。
   選んだプリセット番号と記憶させた周波数が表示され、約10秒後に時刻表示に戻ります。
4. **VOLUME+または–ボタンで音量を調節する。**

ステレオとモノラル受信の切り換え

FMステレオ放送を受信すると、「ST」（ステレオ）*が表示されます。
受信状態が悪いときは「MONO（モノ）」に切り換えてください。ステレオではなくなりますが、雑音が減り、聞きやすくなります。

1. **RADIO ON・BANDボタンを押して、ラジオの電源を入れる。**
2. **RADIO ON・BANDボタンを押して、FM1かFM2を選ぶ。**
3. **リモコンのFM MODE（エフエム モード）ボタンを押す。**
   表示窓に「MONO」が表示され、ラジオの音声がモノラルに切り換わります。
   ステレオ受信に戻す場合は、もう一度リモコンのFM MODEボタンを押してください。
   表示窓に「ST」が表示され、ラジオの音声がステレオに切り換わります。

* 受信している番組がステレオ放送のときのみ、ステレオで受信します。

裏面へつづく

VOLUME +、►II、PRESET TUNING「3」のボタンに凸部(突起)がついています。

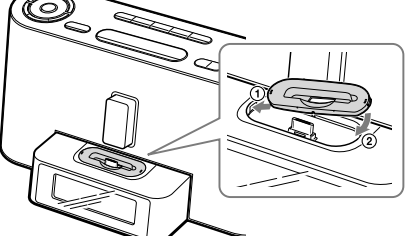
►II、VOLUME +のボタンに凸部(突起)がついています。

“ウォークマン”を聞く

別売りの“ウォークマン”を本機に接続して音楽を聞くことができます。“ウォークマン”の使いかたについては、“ウォークマン”の取扱説明書をご確認ください。

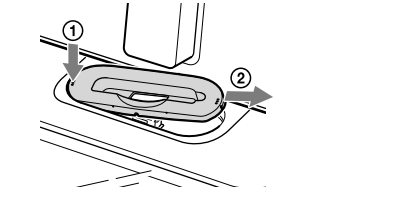
1　**お使いの“ウォークマン”のアタッチメントを装着する。**
アタッチメントは“ウォークマン”に付属しているものか、本機に付属している2種類のうちから対応しているものをご使用ください。お使いの“ウォークマン”によってアタッチメントの形状が異なる場合があります。詳しくは「本機に対応している“ウォークマン”機種」をご覧ください。

2　**アタッチメントのツメをWM-PORTコネクター左側の穴の位置に合わせて先にはめ込んでから(①)、反対側を指で押し込みます(②)。**

3　**本機に“ウォークマン”を接続する。**

本機のWM-PORTコネクターを保護するため、本機の背面にある調節つまみを回して“ウォークマン”の背面にぴったりくっつけるように確認しながら調整してください。

“ウォークマン”を本機で充電するには

電源接続コードをコンセントにつなぎ、本機に“ウォークマン”を接続してください。充電が自動的に開始します。充電の状態は“ウォークマン”本体に表示されます。詳しくは、お使いの“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。

ヒント
- 以下の“ウォークマン”でご利用になれます。
  ―WM-PORT 搭載モデル
- アタッチメントを取りはずすには、イラストのようにアタッチメントのマーク(ooo)の位置を上から強く押してから(①)取りはずします(②)。

4　**本機またはリモコンの►IIボタンを押す。**
「W」が表示窓に表示されます。
“ウォークマン”の再生が開始されます。本機またはリモコンで“ウォークマン”の再生、一時停止、停止などの操作を行うことができます。

5　**VOLUME+または–ボタンで音量を調節する。**

押すボタン	操作
►II	再生中に一時停止する。または一時停止を解除する
OFF/ALARM RESET	再生を停止し、“ウォークマン”の機能を終了する
I◄◄ (一度押す)	今聞いている曲を頭出しする
I◄◄ (押したままにする)	早戻しする
►►I (一度押す)	次の曲を頭出しする
►►I (押したままにする)	早送りする
FOLDER +/– (リモコンのみ)	フォルダの切り替えをする

“ウォークマン”を使わないときは

“ウォークマン”で音楽を聞かないときや、ラジオなど他の機能に切り換えるときは、OFF/ALARM RESETボタンを押すか、他の機能のボタン(RADIO ON･BANDなど)を押します。
上記のどちらかの操作をすると、「W」が表示窓から消えます。

操作	“ウォークマン”接続時	“ウォークマン”なし
OFF/ALARM RESETボタンを押す	“ウォークマン”再生中の場合、再生が停止します。「W」が表示窓から消えます。	「W」が表示窓から消えます。
他の機能のボタンを押す	“ウォークマン”再生中の場合、再生が停止します。「W」が表示窓から消えます。選んだ機能のアイコンが表示窓に表示されます。	「W」が表示窓から消えます。選んだ機能に切り換わります。

ご注意
- “ウォークマン”を本機のWM-PORTコネクターから取りはずすときは、上の方向にまっすぐ抜いてください。“ウォークマン”を手前や後ろに向けて無理に取りはずそうとすると、WM-PORTコネクターが破損するおそれがあります。

本機に対応している“ウォークマン”機種

本機種はソニーの“ウォークマン”モデルに対応しています。対応のアタッチメントについて詳しくは下記の表をご覧ください。

アタッチメント	シリーズ	モデル名	
Aタイプアタッチメント(本機に付属)	Aシリーズ	NW-A820シリーズ	NW-A829/A828
		NW-A800シリーズ	NW-A808/A806/A805
	Sシリーズ	NW-S740シリーズ	NW-S746/S745/S744
		NW-S740Kシリーズ	NW-S745K/S744K
		NW-S730FKシリーズ	NW-S738FK/S736FK
		NW-S730Fシリーズ	NW-S739F/S738F/S736F
		NW-S640シリーズ	NW-S645/S644
		NW-S640Kシリーズ	NW-S645K/S644K
		NW-S630Fシリーズ	NW-S639F/S638F/S636F
		NW-S630FKシリーズ	NW-S638FK/S636FK
Bタイプアタッチメント(本機に付属)	Aシリーズ	NW-A910シリーズ	NW-A919/A918/A916
	Sシリーズ	NW-S710Fシリーズ	NW-S718F/S716F/S715F
		NW-S610Fシリーズ	NW-S616F/S615F
	Xシリーズ	NW-X1000シリーズ	NW-X1060/X1050
NW-A840シリーズ用オーバル型アタッチメント(本機本体色ホワイトに付属)	Aシリーズ	NW-A840シリーズ	NW-A847/A846/A845
オーバル型アタッチメント(別売りの“ウォークマン”に付属)	Sシリーズ	NW-S740シリーズ	NW-S746/S745/S744
		NW-S740Kシリーズ	NW-S745K/S744K
		NW-S640シリーズ	NW-S645/S644
		NW-S640Kシリーズ	NW-S645K/S644K
	Aシリーズ	NW-A840シリーズ	NW-A847/A846/A845

Aタイプアタッチメント

Bタイプアタッチメント

オーバル型アタッチメント*

NW-A840シリーズ用オーバル型アタッチメント**

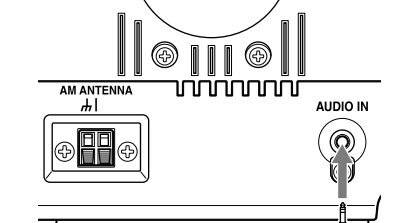
* “ウォークマン”に付属しています。形状は“ウォークマン”によって異なります。

** 本機本体色ホワイトに付属しています。

ご注意
- 対応以外の“ウォークマン”を本機に接続しないでください。本機で対応していない“ウォークマン”を使用した際の動作は保証しておりません。
- 対応している“ウォークマン”でも、本機においてすべての操作ができるわけではありません。
- 一部の地域では販売されていない“ウォークマン”もあります。
- 付属のアタッチメントのタイプは、それぞれのアタッチメントの裏側の刻印(A、Bまたは4-156-026)で確認できます。

最新の“ウォークマン”対応機種は、下記サポートページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/walkman-support/

別売りの外部機器をつなぐ

1　**本機背面のAUDIO INジャックと別売りの外部機器を付属のオーディオケーブルで接続する。**

2　**AUDIO INボタンを押す。**
表示窓に「AUDIO IN」と表示されます。

3　**本機のAUDIO INジャックにつないだ機器を再生する。**

4　**VOLUME + または – ボタンを押して音量を調節する。**

機器の音を止めるには

本機のOFF/ALARM RESETボタン(リモコンの場合、OFFボタン)を押します。表示窓の「AUDIO IN」が消え、本機から聞こえる機器の音が停止します。ただし、機器側の再生自体は停止しません。

ご注意
- 本機に接続した機器の取扱説明書もご確認ください。
- 機器によっては、本機に付属のオーディオケーブルが使用できないことがあります。その場合、お使いの機器に適したケーブルをお使いください。
- 本機に機器を接続したままラジオを受信しているとき、雑音が入る場合は、接続した機器の電源を切ってください。接続した機器の電源を切った状態でもラジオに雑音が入る場合、本機と機器の接続を解除し、本機からできるだけ離してください。

ラジオや“ウォークマン”、ブザー音で目覚めるには

― アラーム機能

本機ではラジオ、“ウォークマン”、ブザーの3種類からアラームの音を選ぶことができます。

アラームを設定する

1　**ALARM ON/OFF･ALARM SETボタンを2秒以上押したままにする。**
表示窓に「時」が点滅します。

2　**TIME SET+または–ボタンを繰り返し押して「時」を設定する。**
TIME SET+または–ボタンを押したままにすると、速く変わります。

3　**ALARM ON/OFF･ALARM SETボタンを押す。**
「時」が設定され、「分」が点滅します。

4　**手順2を繰り返し行い、「分」を設定し、ALARM ON/OFF･ALARM SETボタンを押す。**
時刻の設定が確定し、「曜日」が点滅します。

5　**TIME SET+または–ボタンを繰り返し押して、以下の3種類の曜日の組み合わせパターンからお好みの組み合わせを選ぶ。**
毎日:「MON TUE WED THU FRI SAT SUN」
ウィークデー:「MON TUE WED THU FRI」
週末:「SAT SUN」

6　**ALARM ON/OFF･ALARM SETボタンを押す。**
曜日の組み合わせパターンが設定され、アラームの音の種類が点滅します。

「W」、「RADIO」、「BUZZER」の中から一つ選びます。
-「W」:　「A“ウォークマン”アラームを設定する」をご覧ください。
-「RADIO」:　「Bラジオアラームを設定する」をご覧ください。
-「BUZZER」:　「Cブザーアラームを設定する」をご覧ください。

A“ウォークマン”アラームを設定する

本機に接続した“ウォークマン”の曲をアラーム音に設定して再生することができます。

1　**「アラームを設定する」の手順1から6までを行う。**

2　**TIME SET+または–ボタンを繰り返し押して「W」を選ぶ。**

3　**ALARM ON/OFF･ALARM SETボタンを押す。**
表示窓に「VOL」が表示され、アラーム音量が点滅します。

4　**TIME SET+または–ボタンを繰り返し押して、アラーム音量を調節する。**
TIME SET+または–ボタンを押したままにすると、速く変わります。

5　**ALARM ON/OFF･ALARM SETボタンを押す。**
アラーム音量が設定され、時刻表示に戻ります。

ご注意
- “ウォークマン”をアラーム音に設定している場合、アラームを設定した時刻に本機に“ウォークマン”が接続されていないときは、ブザーアラームが鳴ります。

Bラジオアラームを設定する

お好みの記憶させた局の放送をアラーム音に設定することができます。

1　**「アラームを設定する」の手順1から6までを行う。**

2　**TIME SET+または–ボタンを繰り返し押して「RADIO」を選ぶ。**

3　**ALARM ON/OFF･ALARM SETボタンを押す。**
表示窓に「VOL」が表示され、アラーム音量が点滅します。

4　**TIME SET+または–ボタンを繰り返し押して、アラーム音量を調節する。**
TIME SET+または–ボタンを押したままにすると、速く変わります。

5　**ALARM ON/OFF･ALARM SETボタンを押す。**
アラーム音量が設定され、最後に設定していたバンドが表示窓に点滅して表示されます。

6　**TIME SET+または–ボタンを繰り返し押して、バンドを選ぶ。**
「FM1」、「FM2」、「AM」、「- -」の中から一つ選びます。「- -」を選んだ場合、最後に聞いていた局がアラーム音に設定されます。

7　**ALARM ON/OFF･ALARM SETボタンを押す。**
アラームに設定する局のプリセット番号が表示窓に点滅して表示されます。

8　**TIME SET+または–ボタンを繰り返し押して、お好みのアラーム局を選ぶ。**
TIME SET+または–ボタンを押したままにすると、速く変わります。

9　**ALARM ON/OFF･ALARM SETボタンを押す。**
アラーム局が設定され、時刻表示に戻ります。

Cブザーアラームを設定する

1　**「アラームを設定する」の手順1から6までを行う。**

2　**TIME SET+または–ボタンを繰り返し押して「BUZZER」を選ぶ。**

3　**ALARM ON/OFF･ALARM SETボタンを押す。**
ブザーアラームが設定され、時刻表示に戻ります。

アラームの設定を途中でやめるには

アラームを設定しているときにOFF/ALARM RESETボタンを押すと、設定は中止されます。

アラームを有効にする

ALARM ON/OFF･ALARM SETボタンを押します。表示窓にアラーム設定した時刻、曜日のパターン、アラーム音が同時に表示され、時刻表示に戻ります。表示窓に「ALARM」が表示され、設定したアラームが有効になります。

アラームを解除するには

ALARM ON/OFF･ALARM SETボタンをもう一度押します。表示窓の「ALARM」が消え、設定したアラームが解除されます。

設定したアラーム時刻を確認するには

TIME SET+または–ボタンを押します。表示窓にアラーム設定した時刻、曜日のパターン、アラーム音が表示されたあと、時刻表示に戻ります。

ALARM DISPLAYボタンを押して確認することもできます。その場合、次の手順になります。

1　**ALARM DISPLAYボタンを押す。**
表示窓に設定した時刻、曜日のパターン、アラーム音が表示されます。
アラーム音が「W」、「RADIO」に設定されている場合、次の手順に進みます。

2　**ALARM DISPLAYボタンを押す。**
表示窓に設定した音量が表示されます。
アラーム音が「RADIO」に設定されている場合、次の手順に進みます。

3　**ALARM DISPLAYボタンを押す。**
表示窓に設定した放送局のバンド、プリセット番号、周波数が表示されます。

4　**ALARM DISPLAYボタンを押す。**
時刻表示に戻ります。

上記手順2から4でALARM DISPLAYボタンを押さなくても、表示されている情報は自動的に切り替わり、時刻表示に戻ります。

設定したアラーム時刻を変更するには

1　**TIME SET+または－ボタンを2秒以上押したままにする。**
表示窓にアラーム設定した時刻が表示されたあと、設定時刻が連続して速く増えて(または減って)いきます。このとき、TIME SET+または－ボタンを短く繰り返し押して、設定時刻を増減させることもできます。

2　**変更したいアラーム設定時刻を表示させたら、TIME SET+または－ボタンをはなす。**
変更後のアラーム設定時刻が表示窓に点滅して表示されたあと、時刻表示に戻ります。

手順2でTIME SET+または－ボタンをはなしてから2秒以内にもう一度TIME SET+または－ボタンを押すと、アラーム設定時刻をさらに変更することができます。

ご注意
- この操作ではアラーム設定時刻のみを変更できます。設定したアラーム音、曜日のパターン、アラーム音量を変更することはできません。

もう少し眠っていたいときは ― アラームくりかえし機能

アラーム動作中にSNOOZE/BRIGHTNESSボタンを1回押す。

表示窓に「10」が表示され、“ウォークマン”、ラジオ、ブザー音がいったん止まり、約10分後に再び鳴ります。
SNOOZE/BRIGHTNESSボタンを押すたびに設定時間が次のように変わります。
10 → 20 → 30 → 40 → 50 → 60
数秒間設定時間が表示され、現在時刻に戻ります。
現在時刻が表示された後に、再度SNOOZE/BRIGHTNESSボタンを押すと、設定時間は「10」に戻ります。
アラームくりかえし時間は最長で60分までです。
アラームくりかえし機能を解除するには、OFF/ALARM RESETボタン(リモコンの場合、OFFボタン)を押します。

ご注意
- アラームくりかえし機能を解除すると、設定時間も解除されます。

アラーム音を止める

OFF/ALARM RESETボタン(リモコンの場合、OFFボタン)を押す。
翌日も同じ時間にアラームが鳴ります。

停電中のアラーム機能
停電中にアラーム設定時刻になった場合、バックアップ用リチウム電池により、ブザーアラームが働きます。

ご注意
- 表示窓の表示はつきますが、バックライトはつきません。
- アラーム音が“ウォークマン”またはラジオアラームに設定されている場合は、自動的にブザーアラームに切り換わります。
- ブザーアラームは鳴って約5分後に自動的に止まります。
- 「電池マーク」が表示されたら、停電のときにブザーアラームは鳴りません。新しいリチウム電池と交換してください。
- 停電中は、アラームくりかえし機能は働きません。

スリープタイマーを設定する

“ウォークマン”やラジオ、外部機器からの音楽などを聞きながら眠りたいとき、スリープタイマーを設定すると、設定した時間が経過すると自動的に“ウォークマン”やラジオ、外部機器からの音を消すことができます。

1　**“ウォークマン”やラジオ、外部機器を再生中にSLEEPボタンを押す。**
表示窓に「SLEEP」が表示され、設定時間が点滅します。

2　**SLEEPボタンを繰り返し押して、設定時間を選ぶ。**
SLEEPボタンを押すたびに、設定時間が以下のように切り替わって点滅します。ただし、「OFF」は点滅しません。
→ OFF → 90 → 60 → 30 → 15 →(OFFに戻る)
選んだ時間が数秒間点滅したあと時刻表示に戻り、スリープタイマーが設定されます。
表示窓に「SLEEP」が表示され、設定した時間が経過すると“ウォークマン”またはラジオ、AUDIO INからの音が止まります。

ご注意
- AUDIO INに接続された外部機器の再生は自動的に停止しません。

設定した時間になる前に音を止めたいときは

OFF/ALARM RESETボタン(リモコンの場合、OFFボタン)を押す。

設定した時間を変更するには

スリープタイマーを設定したあとも、SLEEPボタンを繰り返し押して設定時間を変更することができます。

スリープタイマーの設定を解除するには

上記手順2で「OFF」を選ぶと、設定は解除されます。

音の広がりを強調する

MEGA Xpandボタンを押すと、ラジオや“ウォークマン”、AUDIO INからの音声の広がりを強調することができます。
音声を強調しないときや、音がひずんだように聞こえるときはMEGA Xpand ボタンをもう一度押します。